

シャロームメモ

2018. 10. 2

第4号

1. シャローム国際連帯の省察をお届けします。昨年と同じ冊子なので、「昨年の冊子がない数だけを各共同体に送りますので、数をお知らせください」とお願いしていましたが、昨年の冊子を保管されている方が少なかったこともあり、今回は、文字を大きいサイズにして全員分をお送りすることにしました。今後毎年これを使いますので、保管していただきますよう、よろしくお願いいたします。

2. 9月『国際シャローム平和を祈る日』の意向

- ① 安倍晋三首相は総裁三選を果たせば、速やかに憲法9条改憲に向けて動くと言っています。み心ならば、『戦争をしない・軍隊を持たない』と誓っている日本の憲法を未来の世代に残し、広く世界に伝えて行くことができますよう、私たちに必要な力をお与えください。
- ② 昨年7月7日に国連で採択された核兵器廃止国際条約は、批准した国が未だに発効に必要な数に達していません。核兵器保有国、日本のような核の傘の中にいる国もこの条約に署名・批准をし、一日も早くこの条約が発効しますように。『核兵器をなくそう！』と願う人々の思いが国連と国を動かすことができますよう、そのための活動を祝福し導いてください。

- ③ この夏に相次いだ大災害の犠牲者のために祈ります。突然の死を迎えた方々をあなたの御許で安らかに憩わせ、ご遺族に慰めと生きる力をお与えください。生活の立て直し、地域復興という膨大な仕事に取り組む方々、応援している方々にあなたの光と力をお与えください。今、世界を覆う大自然の異変に直面する私たちすべてが生活を見直し、被造界と共に歩む生き方を改めて選ぶ機会とすることができますように。
- ④ 私たちは「多様性の一致」を共同生活を通して予言的に証しするものでありたいと願っています。私たちがこの願いを現実に生き、ますます多様化する世界で、マイノリティーと共にある者として使命を果たして行くことが出来ますよう恵みをお与えください。

3. 10月『国際シャローム平和を祈る日』の意向を募集しています。

幅広く社会のニーズに心を向けて祈るため、多くの皆様のご応募をお待ちしています。10月16日までに本部オフィスへお届けください。

4. 10月13日に、東京のイグナチオ教会で『受刑者のためのミサ』が捧げられます。受刑者に寄り添い、刑を終えた人々の社会復帰を支援する「マザーハウス」の主催です。その日にはこのことを心に留めてお祈りください。

*今後、シャロームメモには通し番号をつけ、わかりやすいよう「シャロームだより」と同じ黄色の紙に印刷をすることになりました。よろしくお願いたします。